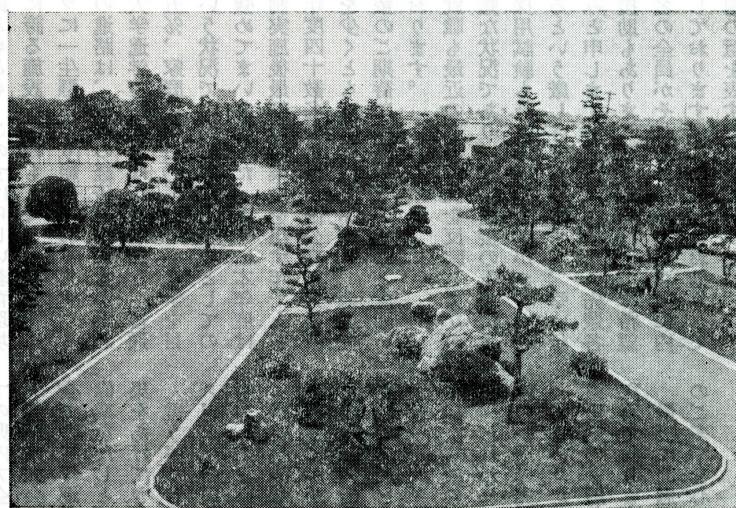


同窓会だより



写真=本館二階より前庭を望む

ご挨拶

同窓会会长 井深透

同窓会の関係で時折母校を訪れ、創立当時に思
を致しますと、糸貫川の川原は今は住宅地にな
り、木造の校舎は今は鉄筋コンクリートの立派な
校舎になり、庭園は立派に造園され、當時を偲ぶ
ものは周囲の土手の松あります。創立当時植え
られた土手の松は、半世紀以上にわたる激しい風
雪に耐え、今は風格の高い立派な松になり松の緑
は、いや増しに増し五十有余年の刻まれた歴史
を物語つて居るような感が致し、今昔の感に打た
るので御座います。

同窓会の会員も、今や壹万五千有余名を数うる
に到りました。今年度の同窓会総会は糸貫町仏生
寺のかみやにて開催され会員多数の出席を得てな
つかしい恩師を弔み、且つての在学時代からの積
る数々の思い出話に花を咲かせ、時間のすぎると
もわざれて、なごやかなムードの裡に会員相互の
友情の絆を強めつつ年に一回一堂に会して共に語
る楽しい同窓会は盛大に行われました。

昨年十二月に名古屋支部の総会が開催され、又
今年一月には揖斐郡教職員関係者の同窓会が催
され、夫々盛大に開催され私共関係者がお伺い致
し会員皆様の、お健かなお姿に接し共に語る機会
を得まして、喜んで居る次第で御座います。

今年も各地区の同窓会支部に於いて総会が開催
されますが、その折は是非関係者
一同出席させて戴き拝眉の機を得て皆様の御健康
を祝福し、且つ母校の近況を語る機会を得ること
が出来ますれば、誠に幸に存する次第で御座いま
す。

三、昔糸貫 川水清く

田鶴のむれとぶ 羽音の如く
本郷健児 われらいかで
雲居にあけで おかむ名をば

一、東金華の 朝影映ゆる
われら 本巣の中学校
神州男兒ここに集ひ
養ふ明き 清き精神
二、西に養老 孝子を偲ぶ
われら 本巣の中学校
やがては御國 負ひて立つと
磨くは直き 効き精神

旧制本巣中学校校歌

年内余日も無くなつてしましました。寒さも一
入加つてまいります折柄、会員の皆様方には益々
御清祥にて御多幸な昭和五十二年の新春をお迎え
戴きますことをお祈り申し上げます。

昭和五十一年度 総会報告

八月二十一日(土)午後二時より、本巣郡糸貫

町仏生寺の「かみや」で開催。本年は地元での開
催でもあり、例年以上にボスター、チラシ、往復
ハガキ等で総会の周知徹底を図り、例年を上まわ
る出席者を期待したが、当日は県高校総体ともぶ
つかつたため、当初予想したほどではなかった。

八代副会長の開会の辞、井深会長挨拶、豊田学
校長挨拶のあと、梅田昭二氏を議長に議事に入っ
た。先ず、事務局より、昭和五十年度会務報告な
らびに会計決算報告がなされ、監事の梅田茂氏に
よる会計監査報告、更に新年度予算案を承認。続
いて、新役員として副会長に山田美代子氏(高二
回)、翠静氏死去に伴う監事の補充として、西鶴
子氏(女三回)をそれぞれ承認。ひき続き、規約
第七条の一部改正と、創立五十周年記念奨学制度
実施報告を承認し、同窓会名簿特別会計報告を以
つて、議事を終了。石川副会長の閉会の辞で総会
は滞ることなく終る。その後懇親会に入り高橋三
三先生より、昨年の顕彰碑建立の謝辞があり、十
余名の恩師を交え、総勢五十名余で歓談、盛会裡
に散会した。

なお、規約の一部改正は次の通りである。

旧 第七条 理事 若干名 正会員より各卒

業年次毎に選出したものおよび賛助会員

中より会長が委嘱したもの。
右記の条文中「傍縁部分を「および正会
員、賛助会員中より」と改める。

岐阜県立本巣高等学校同窓会本部事務局

岐阜県本巣郡糸貫町仏生寺
郵便番号501-04 電話(0583)24-1201

最

近の母校

学校長 豊 田 義道

高校二回卒 山田美代子

本校創立以来はやくも五十六年、その間卒業生の数も実に一万五千有余名に達し、これら多くの先輩が各方面で目覚ましい活躍をされておりますことは、母校に勤務している卒業生の一人としましてもまことに心強い限りであり、またご同慶に堪えないところであります。

母校は現在千三百八十名の生徒が七十余名の教職員とともに、このすばらしい教育環境と県下に誇る施設設備のもとで、日夜勉学にスポーツに一生懸命とり組んでおります。生徒の進路は、最近の経済不況にもかかわらず、大学進学の希望者は年々増加し、普通科の九五%、家庭科の五〇%近くが進学を目指すという状況で、名実共に進学校としての性格を強めてまいりました。とくに本年度は新学区制実施後最初の卒業生を出す年でもあり、昨年度四十数名であった国公立四大の合格の数を少くとも五〇%以上ふやし、地域社会や先輩のご期待にも応えたいものと念願いたしております。

また就職も最近の経済不況を反映してなかなか困難な状況であり、従来面接のみで済ませた採用試験もほとんどの企業がテストを実施するという厳しさであります。幸い伝統の重みと申しますか、目に見えない先輩各位のご援助もありまして、本年度すでに希望者七九名の全員がそれぞれ希望する職種に内定いたしております。この紙面をお借りして深く感謝の意を表する次第であります。

また生徒の体位向上と根性の育成を目指し、部活動の振興を図つてまいりましたが、とくに本年度は同窓会のご援助もいただき、部活動運営委員会を設置していただきました。これは部活動のための施設設備の充実・遠征費の補助等部活動全般にわたつて経費の援助をしていただくものであり、おかげで部活動も一段と活性化し、女子バレー部がすべての県内大会で完全優勝したのを始め、ソフト部が県大会の優勝はもちろん、中部地区大会での二年連続優勝、インターハイ準優勝の偉業をなしとげるなど、数多くの輝かしい成果をあげてきました。

言ふべくして実行困難とされるこの学業とスポーツの両立を目指し、学校として今後も努力してまいりたいと考えております。幸い生徒も純真にして質実剛健、意識すると否とにかかわらず、先輩からの有形無形の支援を受けつき、これを更に発展させるべく日々真摯な活動をつづけております。

以上本校の近況について申し上げました。が、われわれは現状に甘んすることなく、母校の一層の発展を図るべく、これからも頑張ってまいりたいと思いますので、今後とも会員皆様の一層のご支援、ご鞭撻をお願いする次第であります。

最後に同窓会の限りなき発展と、会員皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

として残っております。女子は中途で退学す



十八才の折身
体検査で医師曰
く「九十才迄請
負う」と。本中
頃が最盛期と思
われました。八十
才の時、残り
十ヶ年は大丈夫
と確認し、半分
の四十五を添え
長寿目標一三五



この度、副会長

る人が多く高校卒業の時は男子九十五名に対し女子は十四名という淋しさでした。前戦後を通じて二十年近く教鞭をとらせていました。私個人的には本巣高校と縁が深く、父が戦前戦後を通じて二十一年で亡くなりました。母が戦後も高校を卒業させました。長女も今春高校を卒業させていただき親、子、孫と三代にわたってお世話をになり人一倍御恩を感じております。新築相成ったモダンな校舎と素晴らしい校庭を眺め、又昔日の懐しい木造校舎を思い出しながら私のように微力で至らぬ者でも、母校の為に少しでもお役に立てたらとしみじみ思つて居ります。どうか先輩の皆様方の御指導と御鞭撻を心よりお願い致します。

この度、副会長の大役を仰せつかりました。私は全く思いがけない事であり、とてもこんな大役をお引き受け致す結果となつてしましました。

△ 恩師近況 △

鹿島源助

私は昭和二十年七月、当時旧制高女二年の時神戸より疎開して参り、本巣高女に編入させていただき、それから女学校、高校と四年半お世話になりました。私達の年代の学校生活は、戦前戦後にまたがり戦後六・三・三制が施された為、旧制高女から新制高校へ移管され、間もなく男女共学となり、そして学区制へと、あわただしく移り変わり現在のようにならざる如くに落着いた学校生活を送ることは出来ませんでした。

「過渡期に穢性はつきものだから、くじけず頑張るのだ」と先生方から、はげましの言葉をいたしましたが、あと一年で高校卒業という時に学区制が施され、友と離ればなれにならなければならなかつた悲しさは今まで忘れる事が出来ない唯一の、にがい思い出として残っております。女子は中途で退学す

十余年前より特に視力減退、これが死因になるかとも思われます。近年瀕死に近い場合

二回、一は木更津市内国道十六号線上、徒步

の際、後方からのトラックに前方に突倒され

しも幸にして大負傷もなくすみ、次も同市内

国道一二七号線上、後方からの乗用車に前方

に突倒され両手と顔面を路面に突当て、十余

ヶ所に負傷出血甚しく、直ちに同車に乗り外

科医院に急行、手当。この際は幸にして命を

拾つたという状態でした。負傷は一ヶ月余に

して全快、もう少しで死ぬ處でした。その後

も路上や家屋内に於て度々倒れしも負傷は免

れました。

次に遺言めいた件二つ

(一) 近年中に世に言う死亡という事あるも、私は息子に遺言として頼む件、

「鹿島死す(呼吸停止)意氣残る式あ」という電報を諸学校其他へ頼む。私と

しては、残る意氣を以って遺業を絶う限り完成の決心。

(二) 目標の一三年は昭和九十二年、西暦二〇一七年で同年七月十日の誕生日を以て意氣の終りと考えます。それ迄は継続事業を進めたいものです。私に対する葬儀の事は毎年の誕生日に仏壇に焼香をと思っていました。最後の日といえども別に改った事無しで終る。

(付記) 鹿島先生は大正十一年より昭和二十一年まで、本巣中学に在職され、現在九四才の高齢です。御住所川崎市中原区木月大町一九三(電〇四四一七二二二〇〇五)先生へ御便りを差し上げて下さい。)

以上

△同窓生近況

健 康

中十三回卒 翠 正 明

「健康」に優る幸福はないと思ひます。ところが最近は、眞の健康者が少なくなり病気でもないが健康でもない。どこか少し調子が悪い人間が増加しているそうです。又病気になつてみると健康の有難さや幸せは仲々わからないものです。

私は昭和十二年学校を出てから間もなく、

国(当時は内務省所属)の職員として、県庁に勤務することになり、その後昭和十九年九月から、昭和二十一年六月まで北支に従軍し、復員後復職し、昭和三十三年に厚生省出

先機関の社会保険事務所の所長として、多治見、岐阜、熱田、大曾根と地方の社会保険行政の責任者として、歴任し、その後退官して

引き続き社会保険の関係団体の役員として現在に致っていますが、通算して約四十年間社会保険制度に關係して来ましたので、その仕事

の関係上健康とか病気とかいう言葉は切りはなすことのできない境遇を生きて来ました。

そして多くの先生方に色々のお話を聞いてきましたが、健康を保つことで、これなら絶対

と云うことはなさそうです。やはり運動や体操やからだをよく動かす。

よく歩く。つかれを取る。よくねむる。食事に注意するなど皆さんも十分御存知のこと

で、だれにでも出来ることがばかりです。ところがこのだれにも出来る容易なことが、さて

実行と云うことになると、人間は仲々出来ないものです。

しかし、私達はなにをおいても、体操や運動を行ふことに努め、からだを丈夫にして健康を守らなければならないことです。

厚生省が毎年発表します国民医療費とは、全國民が年度内に医療機関において傷病の治療に要した費用を中心に推計したものですが、昭和四十九年度推計額は五兆四、〇〇〇億円に達し、昭和五十一年度には、約八兆円になるものと予想されています。これら経費の大部は社会保険で支払われますが、本人の一部負担や、この外売薬とか、入院のベットの差額料などは個人負担ですし、国民医療費も増えれば増えるだけ、或は社会保険料で増税になるし、又、病気になれば苦しみ痛みで大変なことです。

私は達はつね日頃健康について、十分自分のからだを監察することも大切なことです。ここに、或先生からおききした、健康の自己診断法一〇ヶ条を次のとおり照会しますので、ときどき自分のからだの調子を、この項目に照し合せて点検し、もし異状があれば速かに医師の診断を受けて、早期治療早期回復を心掛けることも大切なことだと思います。

(1) 必要なだけ睡眠がとれているか。

(2) 食欲は適当にあるか。

(3) 便秘は正常であるか。

(4) 排尿は正常であるか。

(5) 膜の色は白っぽくないか。

(6) 顔色が悪くないか。爪の色や口の中の粘膜の色は白っぽくないか。

(7) 動悸、息切れがすることはないか。

(8) 体重が急にふえたり、減ったりはしていないか。

(9) めまい、立ちくらみがすることはないか。

(10) からだがなんとなく疲れやすいことはないか。

杳き杳き思ひ出の人々、事共作文する術もなく思いつき湧き出るままに拙い詠歌にしまして、忘れられた私の息吹きを御指命のまま、同窓会だよりに乗せさせて頂きました。

杳き思い出

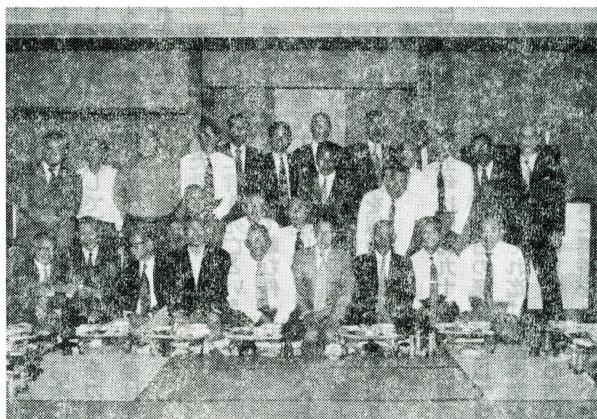
高女三回卒 西 鶴 子

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
杳き杳き思ひ出の人々、事共作文する術もなく思いつき湧き出るままに拙い詠歌にしまして、忘れられた私の息吹きを御指命のまま、同窓会だよりに乗せさせて頂きました。	時雨の夜長を独り眼冴えて	さびつきし思ひ出の味食みかえす	生き延びる炎は明日の夢あわく	星と語れり杳き思ひ出	逢う事の絶えなき人々を	やつれたる淋しさおさえ世を渡る	愛しむ夜更け雨しとど降る	若き日の夢たゞらせて桃色の	紅葉照り映え鳥讐え鳴く	明日生きる確証もなく尤も角も	生命在り得て亡き友憶う	我が母校校歴古りて燐たり	ただならぬ大き搖らぎの半世紀	過ぎ去りの我が五十年夢にして	昭和の世の波瀾万丈の半世紀
杳き杳き思ひ出の人々、事共作文する術もなく思いつき湧き出るままに拙い詠歌にしまして、忘れられた私の息吹きを御指命のまま、同窓会だよりに乗せさせて頂きました。	時雨の夜長を独り眼冴えて	さびつきし思ひ出の味食みかえす	生き延びる炎は明日の夢あわく	星と語れり杳き思ひ出	逢う事の絶えなき人々を	やつれたる淋しさおさえ世を渡る	愛しむ夜更け雨しとど降る	若き日の夢たゞらせて桃色の	紅葉照り映え鳥讐え鳴く	明日生きる確証もなく尤も角も	生命在り得て亡き友憶う	我が母校校歴古りて燐たり	ただならぬ大き搖らぎの半世紀	過ぎ去りの我が五十年夢にして	昭和の世の波瀾万丈の半世紀
杳き杳き思ひ出の人々、事共作文する術もなく思いつき湧き出るままに拙い詠歌にしまして、忘れられた私の息吹きを御指命のまま、同窓会だよりに乗せさせて頂きました。	時雨の夜長を独り眼冴えて	さびつきし思ひ出の味食みかえす	生き延びる炎は明日の夢あわく	星と語れり杳き思ひ出	逢う事の絶えなき人々を	やつれたる淋しさおさえ世を渡る	愛しむ夜更け雨しとど降る	若き日の夢たゞらせて桃色の	紅葉照り映え鳥讐え鳴く	明日生きる確証もなく尤も角も	生命在り得て亡き友憶う	我が母校校歴古りて燐たり	ただならぬ大き搖らぎの半世紀	過ぎ去りの我が五十年夢にして	昭和の世の波瀾万丈の半世紀
杳き杳き思ひ出の人々、事共作文する術もなく思いつき湧き出るままに拙い詠歌にしまして、忘れられた私の息吹きを御指命のまま、同窓会だよりに乗せさせて頂きました。	時雨の夜長を独り眼冴えて	さびつきし思ひ出の味食みかえす	生き延びる炎は明日の夢あわく	星と語れり杳き思ひ出	逢う事の絶えなき人々を	やつれたる淋しさおさえ世を渡る	愛しむ夜更け雨しとど降る	若き日の夢たゞらせて桃色の	紅葉照り映え鳥讐え鳴く	明日生きる確証もなく尤も角も	生命在り得て亡き友憶う	我が母校校歴古りて燐たり	ただならぬ大き搖らぎの半世紀	過ぎ去りの我が五十年夢にして	昭和の世の波瀾万丈の半世紀

鶴窓会 総会だより

鶴窓会は昨年は岐阜市常住寺にて、又本年は十月三日正午より北方町駒来町金寿館にて、恩師高橋三三、林坂名雄兩先生を囲み、二十七名が卒業以来四十有余年の思い出話に花を咲かせながら大いに飲み、うたい、日の暮れるのを忘れ有意義に一日を過し、現在御健在にて川崎市に御在住の鹿島先生へ寄せ書を作成御送りすることとし、全員にて記念撮影して、盛会裡に幕を閉じました。

(七回卒 八代春雄)



年一回の同窓会便りを見つけるたびに、卒業生各位が社会の第一線で各々御活躍の状況を知り、心強く思っています。名古屋支部に

名古屋支部長 上田 文男

支部だより

京浜支部の同窓諸君は、それぞれ難かしい時代にも拘わらず活躍されているものと存じます。砂漠のような都市生活環境の中で、故郷を持つ強みが生活を支えているものと思われます。

五十一年度は役員の方々がそれぞれ忙しい関係もあって、さしたる行事もありませんでした。来年は役員の皆さんとも計って、何か目論見たいと思つております。

故郷の皆様に宜しくとお伝へ願います。

学校だより

学校祭に豊田穰氏を招く

三年に一度の学校祭は「思索と躍動」というテーマで、十月十二・十四日の三日間にわたり行なわれた。初日の体育祭は秋晴れの好天のもと、応援や競技に熱戦がくりひろげられ、二日目には直木賞作家豊田穰氏（中学校九回卒）の「文学と人生」と題する講演をきいた。青春をいかに生きべきかという大先輩の話に、生徒は熱心に聞き入っていた。また校長による「海外視察」のスライド、あるいは文化部の日頃の研究と実践の発表など、盛りだくさんな内容で充実した二日間の文化祭であった。

学校だより

学校祭に豊田穰氏を招く

京浜支部の同窓諸君は、それぞれ難かしい時代にも拘わらず活躍されているものと存じます。砂漠のような都市生活環境の中で、故郷を持つ強みが生活を支えているものと思われます。

五十一年度は役員の方々がそれぞれ忙しい関係もあって、さしたる行事もありませんでした。来年は役員の皆さんとも計って、何か目論見たいと思つております。

故郷の皆様に宜しくとお伝へ願います。

京浜支部長 川村 福二

昭和五十一年度

卒業予定者の進路状況

来春卒業予定の生徒は四五九名、そのうち進学希望は普通科男子一七九名中一七四名、女子一四三名中一三四名、家政科一三七名中五九名である。就職希望は普通科男子五名、女子九名、家政科七八名で、うちわけは金融二七名、織維商社二二名、その他の商社一〇名、製造九名、百貨店四名、幼稚園四名、その他三名、計七九名である。

本校教職員異動（五十一年四月）

△転出▽飯尾誠太郎（岐陽高）各務斉（県教委文化課）酒向幸紀（各務原高）武野幸生（関高）華井章裕（益田南高）二俣真人（大垣東高）安田慎生（大垣農）山崎喜道（岐陽北）野々村和夫（岐陽高）片岡治雄（岐陽高）岩田孝（八百津高）岩田保（新任）

あ
と
が
き

旧制中学校の校歌が岐阜テレビで放映された時に必要となり、八方手をつくして搜したのが急に必要となり、八方手をつくして搜したのが見つからなかったので、ある同窓生の記憶をたどり、第一面に載った歌詞をテレビ局へ送りました。もし会員の皆様の中でも歌詞をテレビ局までご冥福をお祈り申しあげます。

おいても、年に一度の集会を開くことにしていますが、若い同窓生の集まりが悪いのが残念です。私が明治生まれの者どもが出来ることでは、若い方々のお世話をされる位のことです。

先輩をたより、後輩を導くことが同窓会員としては大切なことの一つと考えます。今年も忘年会の時期が近づいてまいりました。極めで多事多難の本年を忘れ、新しい年へ手をつけないで前進いたします。

名古屋支部総会 来る十二月十八日（土）、正午より中区栄町の東鮎本店で、名古屋支部総会が開かれます。一人でも多い参加が望まれています。

地区総体女子2位、男子3位
バドミントン部
ラグビー部
卓球
東海高校総体2位、全国高校総体ベスト
中部総合大会3位、地区総体優勝
鷲見知広第31回佐賀国体出場

地区総体女子3位
ハンドボール部
地区総体3位
テニス部
地区総体女子2位、男子3位
バドミントン部
地区総体女子3位
陸上部
地区総体加納健次二〇〇m優勝
ハンドボール部
地区総体3位
水泳部
剣道部
地区総体女子3位
高村晶廣東海高校総体出場

地区総体女子3位
ハンドボール部
地区総体3位
水泳部
剣道部
地区総体女子3位
高村晶廣東海高校総体出場

地区総体女子3位
ハンドボール部
地区総体3位
水泳部
剣道部
地区総体女子3位
高村晶廣東海高校総体出場

小山徹（高山工）木野村直世（斐太農）後藤正紀（揖斐高）田中輝夫（華陽高）細江守男（大垣第一女）山田紘（斐太高）和田幸子（岐阜高）堀要（新任）

告
知
版